

編集後記

2021年度も新型コロナウイルス感染症は収束せず、前期は第4波の只中で始まり、6月下旬からは第5波、そして11月下旬には強い感染力を持つ変異株オミクロン株が国内でも確認され、2022年2月の本稿執筆時点で感染者数は連日過去最多を更新しています。この間、授業運営や研究活動は大きく制約されながらも、それぞれの領域で奮励努力がなされてきました。今号に掲載された投稿原稿3本、特集原稿5本、彙報2本から、その一端を垣間見ることができるでしょう。コロナ禍で情報発信のオンライン化が一挙に進み、情報流通量も増大するなか、本誌「研究論集」は、本学教員の活動成果や知見を共有し、社会に開示し、将来にわたって記録に残すためのプラットフォームとして意義を持ち続けるものと考えています。本誌発行にあたり、査読をお引き受けいただいた先生方をはじめ、多くの方々にご支援、ご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。

(志村)

論集編集委員会

長谷川 精 一 (総合研究センター長)

志 村 聖 子 (音楽学部)

沼 田 潤 (人文学部)

永 井 毅 (人間発達学部)

令和4年3月5日 印刷 第38巻 (通巻第73巻)
令和4年3月10日 発行

編 集 相愛大学研究論集編集委員会

発 行 相愛大学総合研究センター
大阪市住之江区南港中4丁目4番1
電話 (06) 6612-5904番

印 刷 協和印刷株式会社
京都市右京区西院清水町13
電話 (075) 312-4010番
